

議事概要（抜粋）

【質問】これがプロジェクトの最終報告か。他にないのか。

【回答】これが令和6年度の5年目のもので、過年度分は別である。

【質問】KPI評価の数字の見方について、KPI①雇用創出者数は設定した目標値で、その下に年度ごとの実績値が記載されているということで間違いないか。

【回答】そのとおり。

【質問】先ほど、③オンライン診療受診移行率でLINEに登録された方がいたのという話をされていたが、LINEに登録された方がオンライン診療を受けているのか。

【回答】実際にオンライン診療を受けているかは確認できていない。

【質問】移行率とあるので、本来なら対面でオンライン診療を受けた場合であるはずなので、それでいいのかとちょっと思った。また、④の住民満足度で目標値20パーセントに対して100パーセントということか。

【回答】満足度の増加分ということで出し方が難しい部分はあったが、最終的に2名の方にアンケートをとって2名とも満足と回答したため100パーセントとした。

【質問】そうすると、これは増加分なので、1年目は満足度20パーセントだが2年目は30パーセント、3年目は40パーセントだったということか。

【回答】おっしゃるとおり、20、10、10、10、20で累計70というのは、この事業を実施した上で全体の70パーセントの方が満足すればそのKPIは達成ということ

で書いている。

【質問】 そうすると、実績値の 14、11、0、100 っていうのは何か。人数か。パーセンテージだとすると、目標値と実績値で数字が同じ意味で並んでいない。

【回答】 そのとおりであり、申し訳ない。

【質問】 5 年目ということで、ここに大きなテーマとして遠隔医療というキーワードがあるが、新しい総合戦略には遠隔医療はない。大滝のテストケースでもう終わったということか。

【回答】 この Society5.0 に関してはこの補助事業に関する KPI。総合戦略は市全体の KPI であり、そこには上がっていない。もっと違うところが、その政策に関する KPI として上がっていることだと思う。

【質問】 大滝のテストケースで 5 年間実施したが、市全体の目標というか施策の中に遠隔医療というのはなくなってしまうのか。

【回答】 実際に遠隔医療を行っているのは大滝診療所だけで、それ以外の多くのクリニックや病院は遠隔医療を実施していない。市全体からいくと、本当にごく僅かな医療機関でしか遠隔医療を実施していないのが実情だと思う。令和 2 年度に遠隔医療について医師会、薬剤師会に相談したが、コロナがちょうど始まる頃に遠隔医療に対する理解がまだなく、市立病院や大滝診療所でやるなら構わないが、我々としてはできないと言われた。その後コロナが明けてから、国全体としても

遠隔医療に対するあの理解度が上がってきた印象。ただ一方で、大滝地域は65歳以上の方が多く、オンライン診療に慣れてないこと、先生に対面で診てもらいたいという意向が強いこと、また、車での送迎や先生による巡回診療が浸透していることから、今いる方々がオンライン診療にすぐには移行しないが、5年、10年経った時にスマートフォンを使いこなせる方が多くなってくると、利用率は高まってくると考えている。